

GIGA スクール対応教育用端末購入

仕様書

佐野市 教育センター

目次

1.総則.....	4
1.1 本事業の目的.....	4
1.2 調達仕様書.....	4
1.3 調達件名.....	4
1.4 設置期間.....	4
1.5 積算範囲.....	4
1.6 受注者に求める資質.....	5
1.7 添付資料.....	5
1.8 その他.....	5
2. 責任範囲.....	6
2.1 委託する内容.....	6
2.2 機器の設置場所.....	6
2.3 稼働サービス.....	6
3. 調達機器.....	7
3.1 調達機器の前提条件.....	7
3.2 調達機器の特性.....	7
3.3 調達機器一覧.....	7
3.4 調達仕様.....	8
3.4.1 GIGA スクール対応型端末（200 台）.....	8
3.4.2 導入ソフトウェア.....	9
3.5 機器導入準備.....	9
3.6 キットニング作業及び教育センターでの作業.....	10
4. 推進体制.....	11
5. 導入要件.....	12
5.1 工程.....	12
5.1.1 計画工程.....	12
5.1.2 構築工程.....	12
5.1.3 テスト工程.....	12
5.2 調整について.....	12
5.3 成果物について.....	12
5.4 スケジュール.....	14
5.5 その他.....	14
5.5.1 機器展開場所.....	14
5.5.2 納品時期.....	14
6. その他.....	15

6.1 機密保持契約.....	15
6.2 記載外事項.....	15

1. 総則

1.1 本事業の目的

高度情報化およびグローバル化の急速な展開に伴い、児童生徒の情報活用能力、コミュニケーション能力、思考力、表現力および判断力等の育成が必要となっている。

これらに対応するため、一斉学習・個別学習・協働学習の各場面に ICT 機器を取り入れ、ICT の知識技能の定着を図るとともに、一人ひとりの能力や特性に応じた学びを保障し、「学びの個別最適化」や「いつでも、どこでも、学べる」学習環境の改善が必要である。

本業務は文部科学省の提唱する「GIGA スクール構想」を受けて、市内の小中学校について義務教育段階での児童、生徒「一人一台端末環境」の十分な活用により、確かな学びの実現を図ることを目的とする。

1.2 調達仕様書

本仕様書は GIGA スクール対応型パソコン等機器 1 式（※1、※2、※3）ハードウェア及びソフトウェアのほか、マニュアル等の付属品を含む。

※1 本事業稼働に必要となる環境設定等（以下「初期導入」という）済みの機器とする。

※2 事業稼働に必要となる保守、支援等を含む。

※3 契約期間内の障害対応（保守）を含む。

1.3 調達件名

「GIGA スクール対応教育用端末購入」一式

1.4 設置期間

本契約締結後、令和 4 年 3 月 25 日まで。

1.5 積算範囲

本事業に必要な費用の総額について積算すること。また、費用積算時に以下の項目を含むこと。

(1)ハードウェア及びソフトウェアのほか、マニュアル等の付属品の費用を含めること。

(2)業務機器として必要な初期導入に係る一切の費用を含めること。

(3)現在の保守業者及び授業支援等システム導入業者と既設機器及び稼働環境の確認が必要となる場合の協議費用を含めること。

(4)稼働時に必要となるライセンス 1 式を含めること。

(5)機器導入に伴う搬入設置作業を含めること。

(6)システム稼働時に関わるシステムエンジニアリング作業を含めること。

(7)業務範囲

・GIGA スクール対応型パソコンの調達、設置、運用開始支援

1.6 受注者に求める資質

受注者には、大規模な機器導入、設定を行う必要があることから、高い技術力とプロジェクト管理能力を求める。

1.7 添付資料

別紙1 機器仕様

別紙2 ソフトウェア仕様

1.8 その他

(1) 本仕様書に記載した機能及び性能は基本仕様であり、これを上回る性能であっても可とする。

(2) 本仕様書に記載されていない事項は、本市と協議を行い指示に従うこと。

2. 責任範囲

2.1 委託する内容

本事業で委託する内容は以下の通りである。

- (1) 本仕様書に記載される機器の調達。
- (2) 本仕様書に記載される、運用保守、マニュアル等。
- (3) 調達機器の設置・設定、空箱の撤去。
 - ・ 調達機器の機能及び構築要件を確認すること。
 - ・ 機器納品時は動作検証を実施し、構築要件を満たしていることを確認すること。
- (4) 本事業調達機器の稼働のために発生する、他事業調達業者との業務連携作業。
- (5) その他、機器導入及び利用を円滑に進めるための作業を実施すること。

2.2 機器の設置場所

設置場所は教育センターとし、詳細な設置場所に関しては本事業落札業者確定後、情報開示を行うものとする。以下に設置拠点の情報を示す。

拠点名	住所	電話番号
教育センター	栃木県佐野市上羽田 1134-1	0283-20-3108

2.3 稼働サービス

本事業の導入にあたり、既存システム保守業者及び授業支援等システム導入業者に何らかの対応を求める場合は、導入業者に対し、本事業調達業者の責任によりその費用を負担し対応すること。

「システム保守業者及び授業支援等システム導入業者」リコージャパン(株) (0283-27-2160)

3. 調達機器

本仕様書に記載内容の他、授業で児童生徒が安心・安定、快適に動作できるハードウェアスペックを選定すること。ただし、下記の機能要件や台数を下回ってはならない。

3.1 調達機器の前提条件

本事業において調達対象となる機器の前提条件は以下の通りである。

- (1) 本仕様書に記載される調達物品の技術的要件は全て必須の事項であり、対象となる機器のスペックに関しては記載されている仕様を満たした機器の選定を行うこと。
- (2) 納入する OS は調達の時点で最新のバージョンのものを調達すること。

3.2 調達機器の特性

本事業において調達対象となる機器の特性要件は以下の通りである。

- (1) 本仕様書に記載される機器は、法令関係に定める規定を全て満たすこと。
- (2) 製品に使用する部品は JIS 規格が定められている場合、JIS 規格に準拠した製品を選定すること。また、選定機器は可能な限り低消費電力化を図ること。
- (3) 機器の選定において、RoHS 指令対応か非対応かの選択の余地がある場合、RoHS 指令に対応した製品を選定すること。
- (4) 通信販売/PC ショップで購入した製品は不可とする。
- (5) サプライチェーン・リスクに考慮した端末を選定すること。

3.3 調達機器一覧

本事業における調達機器は以下の通りとする。

表 3-1 ハードウェア

設置箇所	細目	数量	章
教育センター	GIGA スクール対応型端末	200	3.4.1

表 3-2 ソフトウェア

細目	数量	備考
ライنز e ライブラリアドバンス GIGA 特別パック	1	ライنز株式会社 4 年利用分 生徒児童・教職員 200 台
InterCLASS® Console Support	200	チエル株式会社 生徒児童・教職員 200 台
Chrome Education Upgrade	200	Google 社 管理コンソール

3.4 調達仕様

3.4.1 GIGA スクール対応型端末（200 台）

GIGA スクール対応の端末として設定し、管理端末（ソフト）による端末の制御を可能とすること。

(1) 機能及び構築要件

- (ア)教育センターに納入すること。
- (イ)Google Workspace for Education、Chrome Education Upgrade が利用可能なこと。
- (ウ)OS(Chrome OS)並びに本市の指定する導入ソフトウェアを利用可能とすること。3.4.2 導入ソフトウェア概要も参照のこと。
- (エ)本市指定の端末には yahoo!きっず、ビズケット等を設定すること。
- (オ)本市ではネットワーク経路がローカルブレイクアウト 23 校、センターサーバ経由 6 校となっており、双方のネットワーク経路に対応した設定を実施すること。
- (カ)別調達にて構築済の「教育用ネットワーク」に接続し、学校 AP から直接インターネットに接続可能とすること。
- (キ)機器仕様については、【別紙 1 機器仕様】を参照。
- (ク)教育センターのローカルブレイクアウト回線にて、指定のユーザー権限でブラウジングして ChromePolicy にて DeveiceOpenNetworkConfig の登録確認をすること。
また不具合があった場合には、速やかに対応すること。
- (ケ)教育センターのローカルブレイクアウト回線にて、指定のユーザー権限でブラウジングしてシェルフ及びランチャーのアプリケーション登録を確認すること。
また不具合があった場合には、速やかに対応すること
- (コ)証明書については必要な設定を各端末に実装しネットワークの疎通確認を実施すること。
- (サ)プロキシについては必要な設定を実施し、ドメイン接続を確認すること。
- (シ)無線アクセスポイントの SSID 設定が必要な場合は、追加設定を実施すること。
- (ス)エンロールの際に必要な、アセット ID は本市の管理ルールに基づいて設定すること。
- (セ)ソフトウェア名等が示されていないものであっても、仕様を満たす為に必要なソフトウェアについては、その費用も含むこと。
- (ソ)導入時点で公開されている最新のサービスパック等のアップデートを行うこと。ただし、導入環境に不具合が発生してしまう恐れがあるものに関してはこの限りではない。
- (タ)Google Workspace for Education の利用申し込み、ドメイン申し込み、ユーザー、組織登録は佐野市側で登録済みとする。
- (チ)Chrome Education Upgrade の 200 ライセンスは既存ドメインに追加すること。
- (ツ)Google Workspace for Education 及び Chrome 管理コンソールの追加設定については、本市教育委員会の要望をヒアリングし、必要に応じて組織の構造・設計及び設定に反映させること。
- (テ)設定に必要なユーザーアカウントの追加登録については、登録に必要な情報を受注

者に提供するものとする。

- (ト)Chrome 端末の設定については、本市教育委員会の要望をヒアリングし、管理項目の設定反映を行うこと。その際に必要に応じて既存システム保守業者及び授業支援等システム導入業者と打ち合わせを行い適切な設定を施すこと。
- (ナ)機器故障の際の引取費、配送料(往復)、梱包費等の諸費用についても見積りに包含すること。
- (ニ)完成図書には、アセット ID、シリアル NO、MAC アドレス等の維持運用に必要な情報を一覧表に記載して提出すること。
- (ヌ)完成図書には、導入後サポート体制について必要情報を記載して提出すること。
- (ネ)なるべく納品場所での作業が少なくなるように予めキッティング設定を施した上で教育センターに納品すること。
- (ノ)整備機器の仕様を遵守し、履行する上で必要となる全ての諸経費・機器等についても見積りに包含すること。

3.4.2 導入ソフトウェア

(1) 機能及び構築要件

クラウドを基本とする。

- (ア)自治体一人一台プランロイロノート・スクール (4年利用)
- (イ)ラインズ e ライブラリアドバンス GIGA 特別パック (4年利用)
- (ウ)InterCLASS® Console Support デバイスライセンス
- (エ)InterCLASS® Cloud GIGA 特別パック (4年利用)
- (オ)Chrome Education Upgrade
- (カ)ソフトウェア仕様については【別紙2 ソフトウェア仕様】を参照。

(2) 作業要件内容

以下の作業を実施すること。

- (ア)児童生徒、教員が別紙2のソフトウェアを利用可能な状態に設定すること。児童生徒、教職員のアカウント等の設定が必要な場合は、本市の指示に従い設定すること。パラメータが必要な場合は教育センターが提供する。

3.5 機器導入準備

導入する機器には本市指定のツヤ消しフィルム専用シートを受注者が調達し貼り付けること。記載の内容は、本市の指示に基づき既存端末同様に専用ソフトウェアのテンプレートを作成し指定するフォーマット、字体、フォントサイズとする。本体とキーボード(端末の外側と内側)に2か所貼付すること。シールのサイズは31mm×51mm程度とする。また、アセット ID 毎に印字された専用シート2枚を予備シートとして納品すること。詳細は別途指示するものとする。

3.6 キットニング作業及び教育センターでの作業

端末機の開梱作業、端末の学校ネットワークへの参加、G Workspace 端末登録、導入ソフト設定、梱包材の廃棄とする。運用開始後、児童生徒がログイン、インターネット接続、各ソフトウェアを利用可能状態とすること。

エンロール手順書及びエンロールチェックシートは事前に本市に提出し、作業品質の説明を事前に実施し本市の了承を得ること。

納品日時、展開作業日については落札後、調整することとする。

4. 推進体制

(1) 市教委側の体制

- ・ 本業務の遂行にあたって、本市においては、教育委員会事務局関係部署担当者及び学校現場代表者からなる推進体制を整備し、その円滑な推進を図る。

(2) 受注者側の体制

- ・ 導入に従事する要員は、必要な知識・技術に精通し、実務経験を有していること。主要担当者については、実績・経験年数・氏名を明らかにし、業務着手前に本市へ提出すると。

5. 導入要件

5.1 工程

構築は「計画工程」「調査工程」「設計工程」「構築工程」「テスト工程」の5工程で実施することを前提とし、それぞれの工程で要求する事項を記載する。

5.1.1 計画工程

- (1) 契約締結から2週間以内に、作業項目と役割分担、工数、納入物作成・レビュー・納入スケジュール、品質管理目標・手法、進捗管理手法、構築体制・構築場所、マスタースケジュール等を取りまとめ、計画書として提出すること。
- (2) 本市職員へ影響が発生することが想定される作業については、事前に通知が必要となるため、事前に紙面にてそのスケジュールを作成し、マスタースケジュールとは別紙で提出すること。
- (3) 懸案事項管理票を作成し、推進にあたり課題や問題など協議が必要な要件を本市と調達業者で共通認識できる資料を作成すること。また本資料を利用して問題発生時に随時報告を行うこと。

5.1.2 構築工程

機器導入を実施し、機能要件に記載されている要求事項を実現すること。

5.1.3 テスト工程

テスト項目として、機器単体の動作テスト（単体テスト）、ネットワーク接続テスト（結合テスト）、本市担当者立ち会いの上、動作検証を実施するテスト（運用テスト）を実施すること。テスト内容に準じたテスト計画書、テスト結果報告書の作成を行うこと。

5.2 調整について

本サービスの提供を進めていくうえで必要となる関係部署、関係機関との調整用資料等の作成について支援すること。また既存環境や他事業との連携が必須となる。該当事業 導入業者と連携を図り円滑に事業を推進すること。

- (1) 教育センターに納品する際には、スケジュール等の調整、こどもクラブ、アクティブ教室の児童生徒の安全を確保し、学業の妨げにならないようにすること。

5.3 成果物について

- (1) 本システム導入に係る全ての文書は、その様式（テンプレート）や記載方法及び文書番号の採番ルール等を定め、標準化・統一化を図ること。
- (2) 作成する全ての文書に対して、文書番号を付番するとともに、改版履歴を明確にすること。
- (3) 各工程で提出が必要な提出書類及び納品物は以下の通りとし、適切な工程時に速やかに提出すること。なお、提出物の部数については契約書を除き1部とし、電子データも併せて提出すること。電子データの提出手法は任意とする。

工程	納品物	内容
契約後	機密保持契約書	構築作業の性質上、機密情報を取扱う必要がある場合契約後、速やかに委託者と受託者間で機密保持契約を締結すること。
	計画書	契約後、速やかにマスタースケジュールを作成し、以後、定期的な進捗管理報告を実施すること。
設計	方式設計書	構築機器の設計指針に対して、方式設計書を作成し、承認を得ること。
	機器管理台帳	導入対象機器に関して、資産管理台帳や管理ラベルを作成し、資産管理を実施すること。
構築	環境設計書	設定内容を設定資料（システムデザインシート）化し、承認を得ること。
テスト	システムテスト仕様書、結果報告書	ネットワーク接続テスト実施結果を追記し承認を得ること。
納品時	作業完了報告書	全ての作業完了時に、作成した納品資料を電子媒体にまとめて、作業完了報告書とともに納品すること。
随時	打合せ議事録	本市と協議を実施した際に、打ち合わせ内容を書面にて提示すること。
	進捗管理票	進捗の報告を行うこと。
	懸案管理票	問題発生時、対策、検討、期日の記載を行い提示すること。

5.4 スケジュール

令和4年4月1日より本稼働を予定とし、スケジュールに変更が生じた場合は、本市と本事業調達業者で協議の上、調整することとする。

5.5 その他

5.5.1 機器展開場所

本事業では多数の端末の構築作業が必要となるが、基本的に展開場所は本事業調達業者での準備とする。

また、同様に作業時や納品物として物品が必要になる場合も調達業者が負担すること。導入が円滑に行えるよう、構築機器の搬入時期や搬入場所については、業者決定後に全体的な導入スケジュールと合わせて本市と協議するものとする。

搬入作業時は教育センター等を傷つける事の無いように万全を期すこと。施設等の破損があった場合には、本市と協議の上、修理等の対応をすること。

5.5.2 納品時期

本事業において、納品する端末は教育センター納品とするが、納品時期については本市、および教育センターと調整すること。

6. その他

その他の事項について記載する。

本仕様書に記載されていない事項は本市と協議を行い指示に従うこと。

6.1 機密保持契約

(1) 本事業により知り得た個人情報、その他の機密情報を第三者に提供・開示・漏洩してはならない。本事業の遂行において、前項の義務を遵守するための秘密保持誓約書を締結する等、秘密保持について必要となる措置を行うこと。機密保持契約に必要な書類は調達業者が提出すること。

(2) 機密情報については、納品及び保守等本仕様で示す作業の目的の範囲内でのみ使用するものとし、複製・複写または改変が必要な場合には、書面による承諾を受けなければならない。

6.2 記載外事項

本仕様書の記載内容に、疑義が生じた場合は、本市と協議すること。

また、協議内容に関しては議事録として提示を行うこと。

【別紙1 機器仕様】

3.4.1 GIGA スクール対応型端末(200 台)

下記に機器仕様を示す

OS	Google Chrome OS
CPU	Intel Celeron プロセッサN4020 同等以上、2016 年 8 月以降に製品化されたもの
メモリ	4GB 以上
ストレージ	32GB 以上
ディスプレイ	抗菌仕様、Corning社製 Gorilla Glass
画面サイズ	11.6 ～13.0 インチ 10 点マルチタッチ対応
堅牢性	MIL-STD 810G 準拠
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 以上
Bluetooth	Bluetooth 5.0 準拠
キーボード	Bluetooth 接続でない 日本語 JIS キーボード
カメラ機能	インカメラ(広角視野)・アウトカメラ(500 万画素)
音声接続端子	マイク・ヘッドフォン端子×1 以上
外部接続端子	USB3.1(Type-C)×2 USB 3.1 ポート×2(Type-A) 以上
バッテリー	11.7 時間以上
寸法(幅 x 高さ x 奥行)	約 296.0 × 19.95 × 206.0 mm 以下
重さ	1.25kg 未満 (内蔵バッテリーを含む)
メーカー保証	1 年以上
その他	<ul style="list-style-type: none">・GIGA スクール対応端末とすること。・本端末を学習者用コンピューターとして適切に運用するために最低限必要な以下の設定をすること。<ul style="list-style-type: none">a) 端末にログイン可能なユーザーに関する制御設定b) 端末が利用するアプリ、拡張機能等の配信設定c) 接続先ネットワークの制御d) 紛失・盗難時の制御設定・教育センターにて AP 接続、端末登録をすること。

(注) Acer Chromebook spin511(R752T-G2) と同等以上

【別紙2 ソフトウェア仕様】

3.4.2 導入ソフトウェア

下記にソフトウェア仕様を示す

(ア) ロイロノート・スクール

ソフト	自治体一人一台プランロイロノート・スクール
OS	Chrome OS で利用可能とすること。
ライセンス	GIGA スクールパック4年利用分(別入札にて調達済み)
その他	GIGA スクール用端末で利用可能とすること。 (アカウント等設定が必要な場合は設定すること。)

(イ) ラインズ e ライブラリ

ライセンス	ラインズ e ライブラリ GIGA 特別パック
ライセンス数	一式(生徒児童・教職員 200 台)
その他	GIGA スクール用端末で利用可能とすること。 (アカウント等設定が必要な場合は設定すること。) 現在利用中のアカウントを引き続き利用できるようにすること。

(ウ) InterCLASS® Console Support

ライセンス形態	InterCLASS® Console Support デバイスライセンス
ライセンス数	生徒児童・教職員 200 台
OS	Windows 8, 10, Mac OS X, Chrome OS (Chromebook)
ブラウザ	Chrome
その他	GIGA スクール用端末で利用可能とすること。 (アカウント等設定が必要な場合は設定すること。)

(エ) InterCLASS® Cloud

ライセンス形態	InterCLASS® Cloud GIGA 特別パック
ライセンス数	児童生徒・教職員 200 台 4年利用分(別入札にて調達済み)
OS	Windows 8, 10, Mac OS X, Chrome OS (Chromebook)
ブラウザ	Chrome
その他	GIGA スクール用端末で利用可能とすること。 (アカウント等設定が必要な場合は設定すること。)

(オ) Chrome Education Upgrade

ライセンス形態	Chrome Education Upgrade 管理コンソール
ライセンス数	200 台
管理対象 OS	Chrome OS (Chromebook)
その他	佐野市教育委員会ドメインに追加される Chrome 端末を管理可能とすること。